

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	ナレーション応用		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	ナレーション応用	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	元アナウンサー。リポーターやキャスターとして活躍。現在は式典の司会、映画内のナレーション、朗読。講師経歴は、発音・滑舌の基礎、ナレーション、留学生への日本語指導など。					
授業概要						
TV番組、TVCM等の題材を使い、ナレーションを通して相手にイメージを与える為のノウハウを学びます。						
到達目標						
ナレーションの現場に対応する為の応用力の習得を目標とします。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	イントロダクション ・ナレーションとは何か ・ナレーションにおける表現 ・原稿の読み方					
【前期】 6～10回目	表現力の構築 ・聞き手がナレーションからイメージを膨らませられるか					
【前期】 11～15回目	テレビナレーション ・TV、VP、WebCM、映画など映像がある場合の各種ナレーションを学ぶ					
【前期】 16～21回目	ラジオナレーション ・映像が無い場合の各種ナレーションを学ぶ					
【後期】 22～38回目	上記内容を繰り返し練習。 授業毎に録音・フィードバックを行い、ナレーションの精度を高めていく。					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	アフレコⅡ-A		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	アフレコⅡ-A	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	声優としてアニメ・ゲーム・ドラマCDなどで活躍する。また、ナレーションも務めるほか、イベントの司会や舞台にも出演しさまざまな分野で活動する。				
授業概要					
作品毎に様々な世界観の存在するアフレコにおいて、それぞれ世界観におけるアフレコのノウハウを学びます。					
到達目標					
どのような世界観の作品にも対応出来る力、及び応用力を身に付ける。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	世界観毎のアニメ・外画・ゲームにおける演技の方法について				
【前期】 6～10回目	世界観を明確化したアフレコの題材を使い、実際にその世界観に沿った演技の方法を学ぶ。また、授業内で行うアフレコを繰り返し収録、確認する。				
【前期】 11～21回目	上記内容を繰り返し練習。 授業毎にフィードバックを行い、改善点の確認。				
【後期】 22～38回目	上記内容を繰り返し練習。 授業毎にフィードバックを行い、改善点の確認。				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	ダンスⅡ		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	ダンスⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ダンススタジオ主宰、イベント、テーマパーク・ショー等のダンサー出演振付、振付アシスタントとして活動。					
授業概要						
リズムに合わせて体を動かす。その為に必要な筋力トレーニングやストレッチも行う。						
到達目標						
色々なジャンルでの基本的な振付を習得する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	ストレッチ、筋力トレーニング、リズムトレーニング					
【前期】 6～10回目	アイソレーション					
【前期】 11～15回目	アイソレーションを取り入れて、振付の練習					
【前期】 16～21回目	曲に合わせての振付練習					
【後期】 22～38回目	前期の内容を、曲を変えて振付練習。 個人、グループでの振付練習。					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	演技応用A		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	演技応用A	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	1977年俳優としてデビュー。1980年代以降、主に声優として活躍。複数の国民的アニメへの参加他、出演作多数。					
授業概要						
台本を使用し、対話による演技の方法論を学ぶ						
到達目標						
衣装や道具がなくても、心情や感情を表現できるようになることを目標とする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	台本を使用しての演技指導 二人一組となって、対話を中心に演技を行う					
【前期】 6～10回目	心情や感情の動きの考察 役になりきるには何が必要なのかを考える					
【前期】 11～15回目	耳だけでリスナーに理解させるための演技について					
【前期】 16～21回目	演技の間、リズム、テンポについて					
【後期】 22～38回目	前期の内容を踏まえ、以降は台本を変えての演技指導					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	演技応用B		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	演技応用B	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	声優としてアニメ・ゲーム・ドラマCDなどで活躍する。				
授業概要					
色々な題材を使用し、演者としての演技の応用を学ぶ。					
到達目標					
口先だけの演技ではなく、体全体からの演技というものを理解してもらう。					
授業計画・内容					
【前期】 1～10回目	台本読解に重点を置きながら、ストーリーとキャラクターを掴む能力を高める				
【前期】 11～21回目	想像力を鍛え、自分の力で立体感のあるお芝居を作る				
【後期】 22～29回目	影響を受けとり変化する、影響を与えて変化させる				
【後期】 30～38回目	読解力・想像力・表現力の三つで、自立した役者としての柱を完成させる				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	ヴォイトレ&表現歌唱(理論)		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ヴォイトレ&表現歌唱(理論)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	コンポーザー・アレンジャー。有名アイドル作詞楽曲の作曲を代表に、参加楽曲多数。				
授業概要					
音楽理論を交え、知識も含めて歌唱方法を学ぶ。					
到達目標					
感覚のみで歌うのではなく、理論的解釈をした上で歌えるようになることを目標とする。加えて自分の持つ得意音域を理解しKey設定の仕方を含め客観的にも他人の耳に自分の歌がどう心地良く届けられるかを学ぶ。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	授業内容の説明 音域チェック、音感チェック 音符休符の種類の説明、小節感覚、テンポの取り方、リズム強化(Part1~Part20)行けるところまで、又は自分の目標とするゴールまで目指す				
【前期】 6～10回目	リズム強化 音楽理論(長調編)				
【前期】 11～15回目	リズム強化 音楽理論(短調編)				
【前期】 16～21回目	音楽理論 筆記テスト リズム強化 実技テスト				
【後期】 22～26回目	移調 異性ボーカルの曲を原曲キーで歌い、キーボードで使われている音や上下を調べながら自分の音域に合わせる練習。				
【後期】 27～38回目	個人歌唱指導 発声音感強化メニュー①発声の種類1~5②Tuning Up & Down ③和音④全音半音上下⑤ドレミ3階段4階段 ⑥Ear Training				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	アフレコⅡ-B		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	アフレコⅡ-B	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	劇団所属を経て、声優事務所に所属。アニメ、ゲーム、洋画の吹き替え等で、様々な役を務め、現在も活躍中。					
授業概要						
アフレコや吹替えを行いながら、現場で必要となるスキルと演技を学ぶ。						
到達目標						
演技面もスキルアップはもちろん、現場での立ち廻り方法を習得する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	基礎力の確認 ①ストレッチ ②発声 ③外郎売り ④滑舌(サ行、ラ行、リヤ行など)					
【前期】 6～10回目	アフレコ(アニメ) 通し見、プレス、タイムコード合わせ、マイク前に立ちテスト					
【前期】 11～15回目	アフレコ(アニメ) マイクワークについて(周囲への気遣いなど)					
【前期】 16～20回目	アフレコ(アニメ) 相手の芝居を聴く 表現の大きい芝居をする					
【後期】 21～26回目	吹替え アニメと吹き替えの違い					
【後期】 27～31回目	吹替え キャラクターの作り方、息づかい、表情					
【後期】 32～38回目	題材を変えて、アフレコと吹替え					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	業界知識総合講座B		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	業界知識総合講座B	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	声優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	幼少期から活動を始め、国内外の各種イベントゲスト出演・審査員・全国誌取材・FMラジオのメインパーソナリティ・振付師・舞台演出・舞台主演等 各分野で活躍。TikTok3ヶ月で20万フォロワー超え。各SNSにて個人・企業に指導し、1コンテンツあたり4800万再生超え実績あり。				
授業概要					
昨今、人前に出る機会の多い声優という職業において、「自己発信」という点にフォーカスをあて、SNSでの方法論・自分自身の磨き方、自己発信を行う上でのコンプライアンス等について総合的に学ぶ。オーディションに向けて業界研究を行い、自己PR、プロフィールを作成する。					
到達目標					
授業内で学んだ事を実践し、個人活動や将来の声優アーティストとしての活動に活かす。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	SNS社会におけるコンプライアンスについて 各種SNSの説明とその活用方法について 一般、業界常識、オーディション対策				
【前期】 6～10回目	Instagram・X・TikTok・YouTubeなど SNSを使用した自己の発信方法について(実践)個人でのshort動画作り中級 声優業界、必須スキル(ボイスサンプル、機材)、オーディション対策				
【前期】 11～15回目	SNSを活用したプロデュース・SNSリテラシーの向上、行動・発信力の重要性、AI社会、お金との付き合い方、モラルある発信について SNSを使用した自己の発信方法について(実践)指定内容から選択させ、short動画作成 セルフプロモーション、自己PR・歌唱披露				
【前期】 16～20回目	自身のSNSを活用し情報発信、アナリティクス分析 自己PR、プロフィール				
【後期】 21～30回目	オーディション・仕事の様々なシチュエーションに合わせたヘアメイク、服装について 合同オーディション直前対策、模擬オーディション				
【後期】 31～38回目	ヘアスタイル、メイク、ファッションを総合した自分のプロデュースの応用 個別オーディション直前対策、オーディション振り返り				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	表現応用A		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	表現応用A		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	声優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	1997年より声優として活動開始。その後主にアニメ、ゲーム、洋画の吹き替え等で活躍中。また、女優としての活動経験もあり。					
授業概要						
役を演じるために必要な読解力、表現方法を学ぶ。						
到達目標						
台本に書かれた内容を読み取り、時代背景や世界観、役柄に合わせた演技ができるようになる。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	自分自身との向き合い方について、SNSとの付き合い方 自分の表現したいイメージと、他人が受ける印象のギャップについて					
【前期】 6～10回目	自己PR、社会性について考える 役を演じる上での発声・息の出し方・その時の身体の使い方について					
【前期】 11～15回目	台本を使用しての表現方法について ・心をこめるとはどういうことか ・何を感じて、どう思っているのか					
【前期】 16～20回目	相手の台詞を聞いて返すこと、自分以外の他人について考えること					
【後期】 21～26回目	台詞にある感情 表現する為に必要なこと 演じる上でどのような知識が必要か					
【後期】 27～31回目	物語の流れを読み取る 起承転結					
【後期】 32～38回目	感情表現について					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	ヴォイトレ＆表現歌唱(応用)		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	ヴォイトレ＆表現歌唱(応用)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース、俳優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	数々のミュージカルの舞台に立ち、ボーカルユニットではツアーやレコーディングなど精力的に活動。現在はボイストレーナーとして、「疲れない声の使い方」を重点的に指導。				
授業概要					
歌を歌う為に必要なトレーニングを行う。					
到達目標					
一年次に学んだ基礎をいかし、ステージでの表現を習得する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	発声について 基本の発声、ハミング、裏声				
【前期】 6～10回目	音階トレーニング				
【前期】 11～15回目	ブレスについて スタッカートについて				
【前期】 16～20回目	ステージにおけるパフォーマンスについて マイクの持ち方				
【後期】 21～24回目	個人の希望確認 個人歌唱指導				
【後期】 25～29回目	課題曲、自由曲にて個人歌唱指導				
【後期】 30～38回目	公演に向けての個人歌唱指導				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	舞台演技Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	舞台演技Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	声優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	1981年より俳優として活動。1997年より声優としても活動。コミカルな役から威厳ある悪役まで演じる。外国映画における吹き替えの出演も数多い。				
授業概要					
役を演じるということ、を、さまざまな観点から考察し、学ぶ。					
到達目標					
舞台上で演技をする為に必要な空間の共有や、相手とのやり取りの方法を習得する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	発想カトレーニング 一つの題材についてどこまで発想を膨らませられるか				
【前期】 6～10回目	読解カトレーニング 台本の原稿から何を読み取るか				
【前期】 11～15回目	台本を使用して演技におけるメソッド 体感について				
【前期】 16～20回目	瞬発カトレーニング/対応力強化 相手との芝居のやり取りについて				
【後期】 21～38回目	今までの内容を踏まえ、以降は台本を変えての演技指導				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	表現応用B		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	表現応用B		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	声優養成コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	俳優としてテレビドラマや舞台にも積極的出演。声優活動では洋画の吹き替えが中心であるが、アニメ・ゲームにも多く出演。					
授業概要						
「キャラクターを演じる」ことの方法論を学ぶ。						
到達目標						
声の仕事で必要となることの応用を習得する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	台本の読み方、キャラクターの作り方 マイクワークとは アニメと外画の違い					
【前期】 6～10回目	アニメのアフレコとは アフレコに必要な作業について タイムコードについて					
【前期】 11～15回目	キャラクターや設定と変えての演技について					
【前期】 16～20回目	キャラクターをしっかりとイメージする(体型・年齢・性格…等) 台詞の意味合いをしっかりと考える					
【後期】 21～25回目	外郎売り 色々なバージョンで口演する					
【後期】 26～30回目	アフレコ(アニメ)についての方法論					
【後期】 31～35回目	アフレコ(外画)についての方法論					
【後期】 36～38回目	ウェブラジオについての方法論					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 声優芸能科

授業科目名	声優芸能実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	声優芸能実地演習Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	180分(1単位時間45分)		年間授業数	12回(48単位時間)	年間単位数	3単位
科目設置コース	声優養成コース、俳優養成コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等					
授業概要						
それぞれのイベント等における対応、現場における進行の様子・作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	舞台観劇 特別授業、イベント					
【前期】 4～6回目	前期公演					
【後期】 7～9回目	オーディション対策特別授業、オーディション					
【後期】 10～12回目	特別授業、イベント 卒業公演					
評価方法	授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価					
備考						